

ICT技術を活用した農業の実証実験を行いました

10 / 14

農地管理のDX(デジタルトランスフォーメーション)と収穫量の予測モデルを構築することで、農家の負担軽減を目指す実証実験を実施しています。この実証実験は、愛知県の『スマートシティモデル事業』の採択を受け、半田市、常滑市、知多市、南知多町及びListenField(株)が協力して実施しているものです。

当日はListenField(株)CEOのラサリン氏がタイから来日し、協力農家のお米の収穫の様子を確認し、この様子はタイの公営放送(PBS)に取材されました。国際的にも注目が集まるプロジェクトに今後の期待が高まります。



農地で測定した収穫量を確認している様子(中億田町地内)



ListenField(株)と半田市の意見交換の様子

11 / 7



起工式でくわ入れする渡邊院長(左)と久世市長(右)

新半田病院建設工事起工式を行いました!

新半田病院の建設工事の安全を祈願し、市内横山町の建設地で起工式を行いました。

起工式で市長は、“新病院では、南海トラフ巨大地震にも耐えうる特殊な免震構造を採用するなど、高度急性期医療を担う病院としてより機能を高めて生まれ変わります。令和7年4月には常滑市民病院と経営統合し、県内初の地方独立行政法人の病院としての事業を進めていきます”と述べ、院長は、“令和7年4月からの地方独立行政法人化に向けて準備を進めており、高度急性期医療から回復期医療まで切れ目のない医療を地域の皆さんに提供していきます”と抱負を述べました。

半田高校 × 行政 連携授業

11 / 7

まちの課題解決のアイデアを半田高校の生徒が発表!

半田高校と市役所が連携した授業で、半田高校の生徒たちが、SDGsのひとつでもある「住み続けられるまち」をテーマに半田市が抱える課題を見つけ、解決策を考える「地元を愛する、愛デアプロジェクト」の発表会が開催されました。

発表では、SNSを活用したPRなど高校生視点での独創的なアイデアが数多く提案されました。



半田商業高校 × 市内事業者 授業の取組みを半田市長に発表!

11 / 8

半田商業高校総合ビジネス科の生徒たちが、市内事業者の協力のもと取組んだ「ビジネストレーニング」の授業の成果を市長に報告しました。

報告では、85祭(はっこうまつり)に合わせて開催した模擬結婚式やほんだストリートテラスに参加して得た経験などを発表し、“みんなが楽しめるイベントを多くしたい・イベントが無くても来てくれる・来たいと思ってもらえるまちになってほしい”など半田市に対する想いを市長に伝えました。

